

平成30年度 全国学力・学習状況調査

香取市教育委員会

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の名称

平成30年度全国学力・学習状況調査

3 調査の対象

- (1) 小学校調査 小学校第6学年
- (2) 中学校調査 中学校第3学年

4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕

国語、算数・数学はそれぞれ①「主として『知識』に関する問題」と②「主として『活用』に関する問題」を出題。

理科は「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を一体的に出題。

①「主として『知識』に関する問題」(A)

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など。

②「主として『活用』に関する問題」(B)

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など。

イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施。

5 調査実施日 平成30年4月17日 火曜日